

自己改革で特別決議

山形県
農青協

【山形】県農協青年組織協議会は28日、山形市で第68回通常総会を開き、2018年度の事業計画を決めた他、創造的自己改革の着実な実践に向けた特別決議を行った。

Aを担う組織として、これまで以上に協同の力を発揮し、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域活性化を基本目標とする創造的自己改革の着実な実践にまい進する決意を示した。

役員改選があり、新会長に小南賢史さん（JA

環太平洋連携協定（TPP）参加国による新協定「TPP11」や農協改革、米政策の見直しなどの課題が山積みする中、18年度はJAへのさらなる結集と、第27回JA山形県大会で決議した創造的自己改革の着実な実践に向け、一致団結していくことを確認した。

青年組織基盤の強化と活性化に向けた取り組みの他、ポリシーブック（政策集）を活用した農業政策の提言活動や農政運動、食農教育やJA運営への参画にも引き続き力を入れる。

特別決議では未来のJ

鶴岡）を選任。副会長に白田憲彦さん（JAさがえ西村山）と井上清人さん（JA山形おきたま）を新任し、新田隼さん（JA真室川）を再任した。